

■遠見遮断

集落の外から内部の様子が分からな ハように、入口でわざと鉤型に曲げ ています。中世の名残りで、検地絵 図には、3ケ所が描かれています。 現在残っているのは、北西の1ケ所 のみです。

■高札場

江戸時代には、幕府の最も重要な法 令を木の板(高札)に書いて揚げる ことが義務付けられていました。

村や町には必ず1ケ所設けられており、御所まちの高札場は、北の木戸 の内側にあったと伝えられています。現在の高札場は、平成20年に国 の「日本風景街道」事業の一環として、ほぼ同所に復元されました。

■太神宮

文政13 (1830)年の「おかげ参り」のとき、 御所まち界隈では、盛大な施行が行われました。 その後、祀られたのが「太神宮」です。 毎年6月16日には太神宮祭が執り行われ、こ の日に柿の葉寿司 (鯖寿司) を食べたり、衣更



■背割り下水と環濠



えをする風習があります。

西御所は環濠集落として、東御所は 寺内町として、ともに16世紀中頃 又はそれ以前に成立したと考えられ ます。関ヶ原の合戦後当地を支配し た桑山元晴が、環濠内の道路・背割 り下水等の整備を行い、寛保2年の 検地絵図にある町並みができたと考 えられます。背割り下水と環濠は、 ほとんど検地絵図のとおりに現存し ており、平成20年度に国の「循環の みち下水道賞」を受賞しました。











■瓦の刻印と意匠

御所まちの東南約2kmの所にある「柏原」は、良質の粘土がでる ことから瓦の産地でした。御所まちの古い瓦は、ほとんどここで 製作されたもので、それぞれに業者の刻印があります。 また町家の屋根には、恵比寿さんや鍾馗さんなど、招福や厄除け

町内の見どころ

の様々な意匠が施されています。

●鴨都波神社と「すすきちょうちん」 ●吉祥草寺と「茅原のとんど」



積羽八重事代主命 ・下照姫命を主祭 神とし、鴨氏によ って祀られた御所 まちの氏神で、明 神大社の一つに数 えられます。

「鴨の宮」の名で 親しまれ、夏と秋

の祭礼には、町内各所から30~40本もの「スス キ提灯」が奉納されます。この行事は平成12年に 奈良県の無形民俗文化財に指定されました。



修験道の開祖・役行者(役小角)誕生の地。 毎年1月14日に行われる「茅原のとんど」

(国の選択無形民俗文化財)は、大和地方に数

多い「とんど祭り」の中でも最大規模です。

西御所は、環濠が取り巻く江戸時代の商都です。木綿の大和絣、 菜種油、薬種、運送、醸造、旅籠など、様々な商売がさかえました。 今も当時の面影のままに、重厚な町家が軒を連ねています。

↓商業が栄え、商家が軒を連ねる西御所

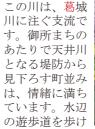


霜 月 祭(そうげつさい)



毎年11月第2日曜日に開催されるこの催し は、由緒ある町家の公開をはじめ、地元の人 たちの個性あふれる芸術作品の展示・名物「 行者蕎麦」の手打ち実演販売・「おづぬ餅」 ・「霜月しもつき茶会」・「行者おねり」など、 見どころや食べどころが満載です。

●柳田川と桜並木





ば、鴨や水鳥が放たれ、桜並木のトン ネルなど四季折々の風情が楽しめます。

御所まち周辺の観光スポット

【葛城山(戒那山)と安位寺跡】

古地図の町並みが今も残る・

白壁/黒壁

お寺を中心に、町が造られた東御所

東御所は、円照寺を中心とした「寺内町」として整備されました。

南のはずれに桑山元晴の陣屋があったとされ、今も「代官町」という

うだつ

煙出し

中籍察

春のツツジ、秋のすすきなど四季を通じていろんな自然が楽しめ ます。また鎌倉・室町時代には、戒那千坊と言われるほど多くの 寺院があったとされ、安位寺跡にその遺構をとどめています。

【葛城の道】

町名が残っています。

金剛・葛城の山麓を南北に走る山裾の古道で、道沿いに数多くの 由緒ある神社仏閣があります。恵まれた自然のなかで、古事記・ 日本書紀の世界に浸ってみてはいかがですか。

【巨勢の道】

飛鳥から高取、戸毛、古瀬へと曽我川を遡り、重阪峠を越えて吉 野や和歌山へ至る古道で、万葉集にも数多く詠まれています。

【白鳥陵】

日本武尊の御陵。白鳥伝説の舞台とされています。

【野口神社と「汁掛け祭り」】

役行者(役小角)と長者の娘との恋物語で有名。娘の化身の大蛇 が入った井戸が、蛇塚として残っています。娘の供養に始まった 「汁掛祭」と「蛇綱ひき」は、今も5月5日に行われています。

【かもきみの湯】

神々が宿る天然温泉。食事やマッサージも完備、心も体もリフレ ッシュできます。

■円照寺

「大和五ケ所御坊」の一つに数えられる 円照寺は、天文年間 (1532年~1555年) 桑山源吾(釋笑雲)によって浄得寺として 開基されました。後に、慶長19(1614)年 本山准如上人より懸所坊舎を命ぜられ、



円照寺と改称されました。 また天保初め(1830年~)

には大々的な本堂の建て替えが行われました。

境内は、本堂をはじめ、対面所、正門、鐘楼、太鼓楼 が配置され、浄土真宗御坊寺の典型的な伽藍配置とな

っています。また境内には、平成16年の本堂大屋根修理の際に下ろ された修復前の3mを超える「鬼瓦」が展示されています。

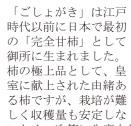
■大和絣



「大和がすり」は、御所まち在住の偉人「浅田松堂」 (1711~1777年) によって考案されました。

近世から明治期をピークに昭和30年代まで、御所の主 力産業として栄えました。模様の大きなものが庶民の 普段使いの品、模様の細かいものが上物として珍重さ れました。

■御所柿



いため、次第に生産されなくなりました。 最近、「幻の柿」とまで言われる「ごしょ がき」を市民の手で復活、振興させようと いう取り組みが始まっています。

■町角のかみさま

御所まちでは、今でも 地区ごとに灯籠や祠を 祀り、先祖から受け継 がれてきたかみさまを 大切に守っています。







■検地絵図

寛保2(1742)年の検地は、御所藩領→幕府領→郡山藩領→幕府領と変遷 した御所まち近辺のみに行われたもので、この地方としては、江戸時代 の最後の検地でした。絵図には、通り名・道幅・持ち主・面積・番号等 が書かれています。現状の柳田川は南に移っていますが、道幅・背割下 水・環濠・寺院の場所等は、ほぼ現状通りです。この検地は、幕府から 派遣された8人の検地役人の監督のもとで行われましたが、御所を担当 した2人のうち、高山吉太夫は客死し、その墓は円照寺にあります。

御所まちへのアクセス

■白動車で・ 京奈和自動車道から、国道24号線で市内へ 阪神三宮 梅田 (大阪)

・西名阪自動車道を柏原 I C でおり、国道165号線を経て

・南阪奈道路を葛城ICでおり、県道30号(山麓線)で市内へ

■近鉄電車で…

大阪あべの橋から吉野行き(急行・特急)に乗り、途中尺土 で御所行きに乗り換え、終点御所駅下車。 (所要時間50分) 近鉄京都駅から橿原神宮前行き (急行・特急) に乗り、 終点で乗り換え、あべの橋行き乗車、途中尺土で御所行きは 乗り換え、終点御所駅下車。(所要時間1時間30分)

R天王寺駅から大和路線に乗り、途中の王寺で和歌山線に 乗り換え。和歌山行きか五條行きに乗車、JR御所駅下車。

■散策される皆様へのお願い。

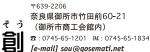
○散策にあたり、敷地内の無断立ち入りや、むやみにのぞき

」 込んだりしないと下さい。 ○歩行中の安全には十分、お気をつけ下さい。 ○煙草のポイ捨てやゴミの投げ捨てはしないで下さい。

■企画・発行

大和西大寺





「でせまち」は

今も生活の場です

御所市観光協会 TEL: 0745-62-3346